



3月の園だより

令和5年3月1日

目黒区立祐天寺保育園園長

先日、4歳児クラスと5歳児クラスと一緒にカレー作りを行いました。野菜の皮をむいたり包丁で切ったりしたあとは、ところどころの工程を子どもたちと行いながら、目の前で調理職員が炒めたり煮込んだりしていきました。

そんなホールの様子を園庭に出る途中の2歳児クラスの子どもたちが気づきました。保育士が「きりん組とうさぎ組のみんながカレーを作ってるんだって」と話すと、興味津々です。しばらくして、庭の遊びを終えて戻ると、すでに玄関にまでいい匂いが漂ってきていました。「カレーの匂いがする」と嬉しそうです。この日子どもたちと作ったのは、3歳から5歳児クラスのみで、他クラス分は調理室でいつものように作ったカレーですが、2歳児クラスの子どもたちも気分はすっかりカレー作りに仲間入りしていたようです。保育室で期待いっぱい給食に向かい、「きりんぐみカレーおいしい」とご満悦だったそうです。

あと少しで進級する幼児クラスへの興味が、ますます膨らんでいる子どもたちの様子を、とても微笑ましく感じました。

幼児クラスの子どもたちはもちろんのこと、自分たちの思いのこもったカレーに「みんなで作るととびきりおいしい」と満足気でした。

就学や進級まであと1か月となりました。子どもたちの成長への大きな期待を大切に過ごしていきたいと思います。

3月の予定

ひな祭り	各クラス
卒園式	5歳児
お別れ遠足	3, 4, 5歳児
お楽しみ遠足	5歳児
クラス 移動日	

(詳細は後日お知らせします)

お別れ会



卒園制作の紹介

子どもたちと相談して園庭で使える新しいテーブルに色を塗り卒園のプレゼントにすることにしました。「何色にしようか」と決める時も年下の友達に楽しく使ってもらえるよう考え「青のペンキで海を描きたい」と子どもたちからアイデアが出てきました。「海には魚が泳いでいるから魚も描こう」「海の中で一番大きい魚はクジラだよ」とイメージがどんどん膨らんでいきます。「青い魚だと海と同じ色で分かりにくいから、青と白を混ぜて魚は水色にしよう」と子どもたちが相談し「青が少しで白は多めにしよう」と調整しています。海の中ではサメや小魚が泳ぎ、海面上にはイルカやトビウオが跳びはねている様子を描いていました。「カモメとかも飛んでるから鳥も描こうよ」とさらにアイデアが出て、赤と白を混ぜたピンクで翼を大きく広げた鳥を表現していました。魚も鳥も泳いだり飛んだりして世界中を回れるので、きりん組はもちろんですが、保育園の友達も色々な所で活躍できますように、という思いが込められています。年下の友達が新しいテーブルを使って遊んでくれる日を楽しみにしています。

成長した子どもたち～こんなに大きくなりました～

ちゅうりっぷ組(0歳児)

みんなが歩けるようになり好きな玩具や保育士の所まで自分から向かっていくようになりました。子どもたちが安心して園生活を送れるよう気持ちに寄り添いながら関わってきたことで、保育士に指差しで何か要求を伝えようとする姿も増えました。子どもたちの視線の先にある思いを汲み取り「〇〇が欲しいの?」「〇〇がしたかったの?」と保育士が気持ちを代弁するすると『そうそう』というように頷いています。体だけでなく、心の成長も子どもたち一人ひとりから伝わってきます。

たんぽぽ組(1歳児)

一人ひとりがじっくりと好きな遊びを楽しむ姿から、少しずつ友達存在や、やっていることに興味が出てきて、同じ空間で遊ぶ姿も増えてきました。牛乳パック積み木を友達が「お家作る」と並べ始めると、1人また1人と同じように並べ始め、出来た空間にそれぞれ好きなものを持ってきて遊んでいます。一人の子が牛乳パック積み木を置き「テレビ見てるの」というと友達が「私も見たい」とやってきて、顔を見合わせながら「おもしろいね」と話しています。友達と一緒に同じことをすることが楽しいという気持ちが育ってきています。



ひまわり組(2歳児)

日常の中で経験したことから子どもたちは想像を広げて、見立てたり再現したりして遊ぶことを楽しむことができました。保育士も一緒に子どもたちの世界に入りながら遊び、子ども同士の思いやイメージを繋いできたことで同じことをして笑いあうだけでなくイメージを少しずつ共有しながら遊ぶ姿が増えてきています。一緒に遊ぶ楽しさが積み重なってきたからこそ保育士の仲立ちのもと、友達の思いを少しずつ受け入れ、「一緒に遊ぼう」「後で貸してね」など子ども同士でやりとりをする姿も見られるようになってきました。

りす組(3歳児)

部屋の中に牛乳パック積み木で仕切りを作り、おうちごっこやお店屋さんごっこなどそれぞれに役になって遊ぶことを楽しむことができました。店員さんがお客さんに「お金がないと買えません」と話していると「ぼくがお金をあげるよ」と銀行員さんが現れたり、「えさ、ちょうだい」と飼い主にくっついて歩く猫役がいたりそれぞれにイメージを広げていました。友達と一緒に遊ぶことの楽しさをより感じた1年になりました。

うさぎ組(4歳児)

たくさん好きな遊びができ、「一緒に氷鬼しようよ」「あとでゾンビボールしよう」などと、友達と誘い合って遊ぶようになりました。一緒に遊ぶ中で思いがぶつかり合うこともあります。互いの思いを伝え合うことを大切にしてきた中で、相手の思いを知って少し譲ったり、「じゃあ〇〇しよう」と一緒に考えたりするようになりました。「みんなと一緒に楽しかった」という経験を重ねてきた中で、友達に共感してもらえたり、「すごいね」と認めてもらえたりしたことが自信にもなり、友達との関りが深まりました。一番大きなクラスになることに期待を持ち、意欲的に毎日を過ごしています。

きりん組(5歳児)

運動会や大きくなったね会等、クラスの皆で協力しあって取り組みを重ねてきたことで、子ども同士で考えながら、自分だけで頑張るのではなく、皆で頑張ろうという気持ちが育まれてきました。構成遊びや工作をしている時に子ども同士で「ここをこうしたらもっといい形になるんじゃない」「それいいね。自分も同じこと考えてたんだ」と友達の意見を受け入れ一緒に考えて遊んでいます。友達がいたから頑張れた等、互いに認め合いながら心を合わせる喜びを感じた一年になりました。卒園まで「心を合わせて」皆で楽しく過ごしていきたいです。

